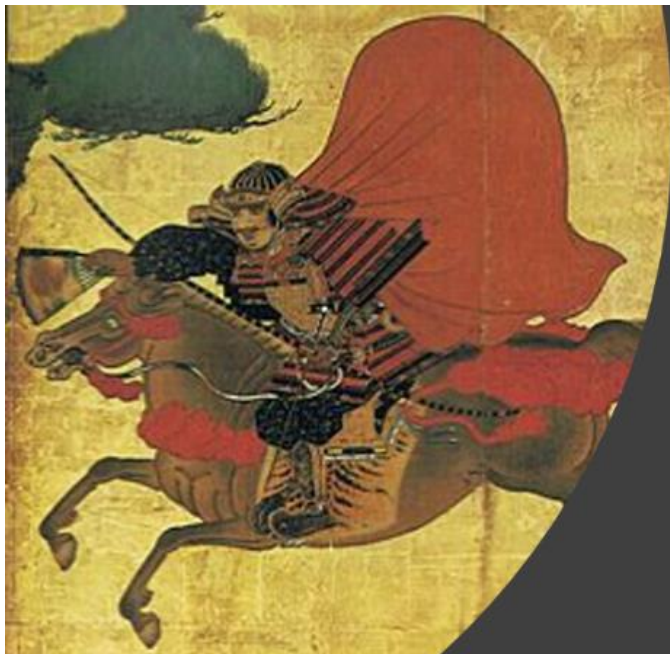


みえいどう
御影堂(本堂)

建てられた年
建久4年(1193年)

元禄8年(1695年)に
再建された



建てた人物

熊谷直実(1141~1207)

- ・ 埼玉県熊谷市出身
- ・ 法然上人の弟子

本堂内部

本堂内部には法然上人像が安置されている。

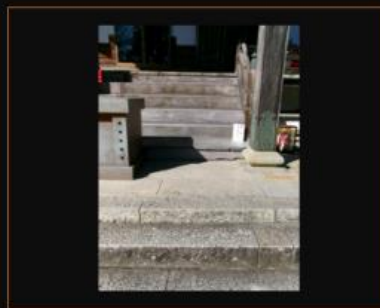
誕生寺は、法然上人誕生の屋敷跡を寺院に改めた。山門と一緒に、国の重要文化財に指定された。



本堂入口を見上げると縦160cm × 横91cmの「誕生律寺(たんじょうりつじ)」と書かれた大きな額があります(天保2年3月に書かれた)。戒律(お坊さんの決まり事)に厳しいお寺ということです。

山門の階段が3段

→人間の捨てられない3つのもの(貪り・怒り・愚痴)を表している



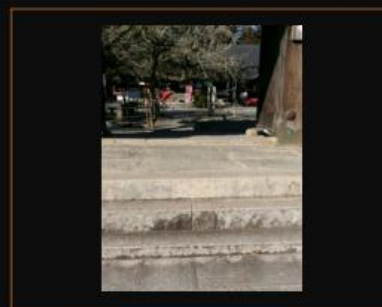
本堂の階段が6段

→心を清らかな状態にし、本堂へ入るため

畳が42枚→死に(4・2)場という意味

除夜の鐘を108回鳴らす

→人間の欲望を表し、消すため



誕生寺は、一度焼き討ちにあった。



狙われやすい寺の構造から再
建する際に、狙われにくい城
に似せた構造にした。

